

●ささき・さやか

1982年生まれ。秋田市出身。「第3回全日本アニソングランプリ」でグランプリを受賞し、2010年1月に『星彩のRipieno』でデビュー。圧倒的な歌唱力に加えデビューシングルから作詞も担当。横浜アリーナ、埼玉スーパーアリーナなどでの大きなフェスにも多数参加し、今秋にはランティス祭りの出演でゼビオアリーナ仙台のステージにも立つ。さらに海外でも活発に活動。テレビアニメ『日常』エンディングテーマ「Zzz」、『閃乱(せんらん)カグラ』オープニングテーマ「Break your world」をはじめとしたアニメソングを数多く担当し今後の活動が期待されている。



発売元：株式会社ライティス
販売元：バンダイビジュアル株式会社



最新曲「Junction heart」
(2014.4.23発売)
初回限定盤【CD+DVD】
¥1,800(税抜)

通常版【CD】
¥1,200(税抜)

からだにめぐる血、 秋田の血

私は生まれも育ちも秋田。途中数年、父の仕事の都合で福島県郡山市に住んでいましたが、戻ってきてからは秋田市郊外の自然豊かな祖母の家で暮らしていました。

祖母は家族に必要な分だけ、畑で野菜や果物を作り、田んぼでお米を作っていました。田植え、稲刈りは学校の授業でもあったし、ホームセンターで自分の鍬をねだつて家の畑作業を手伝うこともしばしば。ご飯の材料に畑へ長ネギや大葉を取りに行くこ



アニメソング・シンガー

佐咲 紗花

とも当たり前。職業農家ではなかったけれど、生活の中に農業は欠かせなくて、夜中に梅の木や桃の木を熊が荒らしに来たことや、夏にとうもろこしを取りに行ったら猿が畑の畝の間に肘をつきながら寝転がって野菜をつまんでいたこと…なんて話の中みたくないことも日々たくさんある生活でした。

高校を卒業してからは実家を出て、秋田市の中心部で会社員をしながら一人暮らしを始めましたが、母が2週間に一度くらいずつ、祖母の作ったお米と野菜を届けてくれました。一度夏に、一人暮らしなのに大きなキャベツを2玉置いて行ったときは、「キャベツ丸々2玉なんて一人暮らしの冷蔵庫に入らないよ！傷んじゃうよ！」と訴えたこともあったなあ。次からは半分に分けたものが新聞紙に包まれて届きました(笑)。

26歳の時、「全日本アニソングランプリ」というアニソングランプリとしてデビューが約束されているという特別な大会を知りました。ずっとアニメの曲を歌う人になりたいという秘かな願いを持っていた私は、その思いを家族や友人に伝え、たくさんの人に背中を押されて一念発起し大会に応募。これでもかというほど時間をかけて準備をして大会に臨み、あれよあれよという間に地方予選で優勝、決勝大会で優勝することができました。アニソングランプリになる切符を手に入れました。その1年前から既に、「本気でシンガーになりたいなら、秋田に居るままだといろいろ難しい」と思って、上京を考えてこ

つ資金を貯めて決意も固めていたものの、実際に「上京する理由」が確固となると、ワクワクと不安の両方で胸がうずきました。

アニソングランプリの決勝から3カ月後、私は上京しました。初めて住む東京。野菜が高い。魚が高い。たまに見つける「秋田県産」と書かれた野菜に妙にほっとしたり。一人暮らしは慣れたものでしたが、家族や友人と遠く離れた東京の地で暮らすのは不安でいっぱいでした。

そんな中でも月に一度ほど、やっぱり母から届く祖母の作ったお米と野菜。そして母の作る日持ちのする類いの料理。私の好きな煮豆や手作りのみそだったり、イチジク煮や栗ごはん等々。今、一人暮らしを始めながらこれ12年、上京してから4年半が経ちますが、未だに私はお米を買ったことがありません。ずっとずっと、祖母の作ったあきたこまちで育ってきました。

そんな祖母ももう気がつけば90歳を超えていて、いつまで祖母のお米が食べられるかはわからないけれど、今、東京だけでなく全国で、そして海外へもアニメソングを届けている私の元気の源は、絶対的に秋田の祖母のお米であって、長い年月をかけて私の体の中に常にめぐっているエネルギーです。これからも秋田出身であることに誇りを持って、他のお米の産地の出身の方々と「我が県のコメが一番！」という小さな小競り合いを楽しみつつ(笑)、あきたこまちを食べて力をつけて、大好きなアニメの世界からもらえる勇気や希望を、歌で世界中に届けられるよう頑張ります！